

Area Innovation Review Mook 014

特集 『都市経営を変える、UrbanTech』

AIR 2015年8月配信 vol.162 - vol.166 特集記事の再構成版



AREA INNOVATION ALLIANCE

< 目 次 >

はじめに	p3
1. 今から10年前や20年前のテクノロジーを振り返る	p4
2. これから注目の Urban Technologies	
2-1. ロボット	p11
2-2. ドローン	p14
2-3. 自動（自律）運転車	p18
2-4. ウェアラブル端末	p24
2-5. AI（人工知能）	p27
2-6. オムニチャンネル	p32
2-7. 電子マネー	p35
2-8. スマート・シティ	p38
2-9. シェアリング・エコノミー	p40
3. まとめ	p44

はじめに

先日、こんなネット記事が公開されました。

・Googleが未来都市開発に進出

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/column/14/561129/072300017/>

あのグーグル社が、住宅・交通・エネルギーの3分野を対象とした「Urban Technologies(以下、UrbanTec)」を開発し、都市部で生活する人々の暮らしを改善していくための事業を展開していくそうです。偶然ですが、丁度、AIR編集部でも、未来に向けたTech系の特集を組もう、という話になっておりまして、こちらの記事を取り上げました。

今回の特集では、『都市経営を変える、UrbanTec』と題しまして、これからの10年とか長くても20年くらいまでを視野に入れて、街に影響を与えるであろう新技術、新製品、イノベーション等について、考えてみたいと思っております。

特に人口縮小を迎えている日本にとってはもはや人海戦術での方法は全て通用しません。より効率的で、できるだけ無人化してできることは無人化して進めていかなくてはなりません。その際の力になるのが、まさしくUrbanTecです。技術の活用によって、行政業務の多くを簡略化して少ない税収でも行政サービスを維持したり、福祉医療などの現場においても人手に頼らないサービスのあり方が切迫する医療保険料の低下につながっていきます。その他、あらゆる産業でも1人で10人分の働きができる社会が実現できれば、日本の経済成長の新しいステージを作り出せるともいえます。そして、このような変化を前提にして都市経営はしなくてはなりません。

新たな都市開発をする際には、これらUrbanTecを積極的に取り入れたものにしていくことが前提となっていくでしょう。

これからの10年なので、2025年くらいですかね。20年で、2035年ですね。10年後、20年後の街って、どんな感じになっちゃってるんでしょうね？技術革新が凄いスピードで進んでる昨今でもあり、これからの新たな都市のあり方が非常に楽しみです。

それでは様々な技術が現在どうなっているのか、見ていきましょう。

1. 今から10年前や20年前のテクノロジーを振り返る

未来の話を考える前に、ちょっと、この10年とか20年の変化やイノベーション、みたいなことを確認しておきたいと思います。今は、普通にあるし、使ってるけど、1995年とか、2005年あたりには無かったものを思い出しますね。

(1) インターネット

やっぱり、なんといっても、インターネットでしょうかね。1995年の「ウィンドウズ95」の発売から、一気に普及が始まりましたよね。以前、AIRでも紹介しました次の記事なんかみると、オフィス一つとっても、完全に別世界です。

- ・ もしもインターネットがなかったら・・・ 昭和のビジネスを再現していみた。

<http://bbpromo.yahoo.co.jp/special/showa/>

街中でも、本屋さん、旅行代理店、レコード屋（CD屋）さん、電器屋さんあたりは、インターネットの普及もあって減っていきましたよね。そうそう、天気予報も、177に電話して確認したりとか、ありましたね。

(2) 携帯電話、モバイルインターネット、スマホ

そうそう携帯電話、インターネットの普及に先立って、1995年あたりから、一気に普及が進みました。携帯電話自体も、今は、スマホが一般的になってきました。携帯電話が普及した2000年代には、街の公衆電話や電話ボックスが、知らない間に、無くなってましたよね。その昔は、結構、電話かけるのに、並んだりしたこともありました。そうそう、携帯電話のおかげで、待ち合わせの方法とかも、変わりましたよね。

その後、携帯電話でメールができたりインターネットに繋がったりできるようになりましたが、モバイルインターネットとなると、2007年に発売されたiPhoneのブレイクでスマホの普及が決定的となって、モバイルインターネットは、今や、PCを凌ぐまで普及していました。

- ・ ヤフー！ニュース （2014年）6月に始めてスマホがPC抜く

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1411/18/news092.html>

街中だと、携帯電話の無料ゲームやスマホ・ゲームの利用者が増えるにつれて、ゲームセンターが、無くなっていったと聞いたことがあります。今残ってるゲームセンターって、クレーンゲームとプリクラが主流なんで、スマホでできないゲームへ転換してるんでしょうね。逆に、携帯電話ショップが、街や街道沿いの至るところにできましたね。

いやー、考えてみれば、10年前って、スマホ、無かったんですね。ものすごい変化です。

(3) タワーマンション

言われてみれば、タワーマンション、1995年だとほとんどなかったですね。厳密には、1995年以前にも建設されていましたが、建築技術の進化と規制緩和で1997年以降に一気に増えましたね。都市再生法によって、容積率緩和が都内でもバリバリ行われるようになり、タワーマンション建設によって都心回帰が一気に起きました。

- ・ 超高層マンション (Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B6%85%E9%AB%98%E5%B1%A4%E3%83%9E%E3%83%B3%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3>

今は、大規模再開発のエリアだと、狭いエリアに何棟も超高層マンションが建つようになりました。そうそう東京都豊島区は、超高層マンションと区役所が同じ建物に入りましたね。

- ・ 庁舎の真上に分譲住宅、借金ゼロで地域再生促す

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/tk/15/434169/062400018/?P=1>

従来では不可能だった超高層住宅建設が、免震・制振技術なども進展し、高くてもとても安全な住宅がばりばりできるようになったともいえます。今でも湾岸部を中心にタワーマンションは立ち続け、外国人投資も比較的安い日本の不動産の投資対象として選択しているとも言われています。

ただ50年後に耐用年数が超えたら、どうするか?という問題など色々と後々のことが決まっていないという問題もありますが、それらも今後解決していくのでしょうか。